



社会福祉法人 すこやか福祉会
株式会社 ファミリーケア
2015年1月1日 第32号
＜4月・7月・10月・1月 年4回発行＞



謹賀新年

平成二十七年の新春を迎えるにあたり、

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、消費税8%の引き上げ、集团的自衛権の閣議決定、医療介護総合推進法の可決など私たちの生活に大きく関わる法案・決定が可決されました。今年は、介護保険制度の改正の年で、今まで以上に大きな改正が予定されています。

内容は、予防給付の訪問介護・通所介護を市町村が実施する新総合事業に移行され今までとは全く違うルール・方法で決定しサービスが提供されます。特別養護老人ホームの入居要件が要介護度3以上になり、要介護2以下の方は特例入所に該当しなければ名簿から外れてしまうこと、低所得の特養等の入居者に対する居住・食費負担軽減制度の見直しで要件に資産が追加されることとなります。介護保険の自己負担が、一定以上の所得者の場合1割から2割に引き上がることとなります。

今までと規準や要件が違う為十分な説明が出来るよう取り組んでいきます。新たな課題はありますが医療と介護が連携し地域で支え、地域で生活していくことが出来るよう今まで以上に皆様と一緒に考え実践していく所存です。

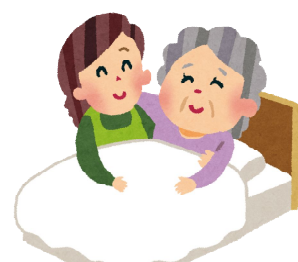
この間法人は、すこやか福祉会の支援する会と協力し、全事業所を上げてバザーや文化祭に取り組んできました。文化祭では、利用者が積極的に参加し活き活きした様子が見られました。このことは、私たちの仕事に励みにもなります。今年も利用者が持てる力を発揮できるよう取り組んでいきます。

そして、昨年末には、多くの方が支援する会へ入会していただいたこと、多くの方から法人へ多額のご寄付を頂き心から感謝申し上げます。書面をもってお礼を申し上げます。ありがとうございます。今後とも運営につきましましては、介護保険が引き下げられる厳しい状況が予測されますが、法人・職員一同努力、奮闘して参ります。

今後とも引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。新しい年が幸多き実りの年となりますことを心からお祈り申し上げます。

社会福祉法人 すこやか福祉会

理事長 中山 美千代



ファミリーケアすみだ 訪問介護事業所

今回はファミリーケアすみだ、新人職員のAさん（匿名希望）にお話を聞いてみました。

ご利用者にとって臨機応変に使える小規模多機能サービスを知って、気持ちが楽になりました。

私は、足立区の柳原にある小規模多機能サービスよりみちの家の所長を務めています。小規模多機能とはあまり聞きなれない名前ですが、中身はデイサービス、ショートステイ、ヘルパーステーションを全て取り揃えている事業所です。

以前は、特別養護老人ホーム、デイサービスで働いていましたが、この事業所に異動して、なんて使いやすく、皆さんの希望に応えられるサービスなのかと感動しました。

例えばデイサービスなど、自分が来たい時間、いたい時間だけ利用出来ます。お昼だけ食べにきたり、家族が病院に行っている間だけ通うことも出来ます。365日24時間営業しているので、ご家族が早く家を出なくてはいけない時などには朝早くから来る事もでき、会議などで遅くなる時も21時頃までいる事が出来ます。また通いで来ている時に少し抜けて、柳原病院や診療所へ受診する事も出来ますし、柳原リハビリテーション病院でリハビリを行なう事も出来ます。

介護保険は、色々な制限が多い制度で、本当に利用する人の事を考えている制度なのかと、以前はとても悩んでいましたが、この事業所に来てからは、ただただ利用する方が住みなれた家、地域で継続して生活するにはどうすればよいか、それだけを集中して考えられるようになり、精神的にとっても楽になりました。

職場の近くには、荒川、隅田川があり、職場に竿を担いできて、仕事終わりにスズキ釣りを楽しんでいます。家に帰ると、1歳を過ぎたばかりの娘が、喜んで駆け来てくれ、とても充実した日々を過ごしています。



Q. 現在、仕事で「嬉しい」と感じたり、やりがいを感じたりすることは何ですか？

A. ヘルパー同士で情報共有、意見交換を行っている時、ケアの質向上を感じ、やりがいを感じます。

Q. 訪問介護のスタイルとして、チームケアを行っています。メリット・デメリットに感じることはありますか？

A. メリットは上記の通りです。
また、休みが取れるようにスケジュールを調整することが出来ます。デメリットは、認知症や精神疾患の利用者には向かないという事です。
複数の慣れない人と接することによって、混乱する可能性は高くなります。また、特定のヘルパーを希望されていても、要望には答えられない為、利用者満足度は低くなると思われます。

Q. 仕事で、これから挑戦してみたいことはありますか？

A. スケジュール作成・調整をきちんと行えるようにしていきたいです。
ケア面では、痰吸引の研修をいつか受けてみたいです。

Q. お休みの日は、何をしていますか？

A. ようやくケアマネ過去問題集を開き始めました。普段は休養と体力作りに時間を割いています。

Q. ご自身の大切にしているものを教えてください。

A. 「食事」です。どんなに時がなくても、栄養補給は欠かせません。好きな物を食べている時間は最高の息抜きになっています。



元気なインタビューをありがとうございました！

事務局 瀧澤

すこやか福祉会を支援する会主催

文化祭を開催しました

11 月 5 日・6 日にすこやか福祉会を支援する会主催の文化祭を葛飾やすらぎの郷で開催しました。今回は全部で 42 作品の応募があり、やすらぎの郷の 1 階が作品でいっぱいになりました。ご応募いただいた皆さん、ありがとうございました。

5 日の 18 時から前夜祭を行い、30 名以上の方にご来場いただきました。前夜祭ではカレーや飲み物などの軽食も販売し、職員のギター演奏やソーラン節、また地域の方のご協力により、アコーディオンやオカリナ、コーラスの演奏をしていただきました。ご来場されたみなさまからは、「楽しかったです」とのお声をたくさんいただきました。



前夜祭の様子



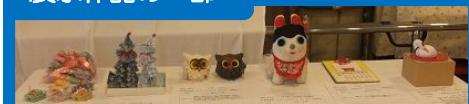
たくさんの方にご来場いただきました



表彰式の様子



展示作品の一部



最優秀賞



『富士山～初日の出～』

今年の文化祭は初の試みで、ご来場された方の投票により、最優秀賞・優秀賞・佳作を決めさせていただきました。

最優秀賞は、葛飾やすらぎの郷共同作品『富士山～初日の出～』でした。色紙を丸めて一つ一つ画用紙にはりつけて作った富士山です。富士山のグラデーションを作るのが難しかったようです。

優秀賞の 1 つ目は葛飾やすらぎの郷の野島光三郎さん『色紙』です。野島様はご自宅で書いた色紙を施設へ持ってきて下さいました。素敵な絵が書かれた作品です。2 つ目は、葛飾やすらぎの郷の永田伝様『詩集徒然のうた』です。永田さんは以前から書き留めてきた詩をまとめてみたいと思い、今回の作品を作られました。やすらぎの郷でこれまで 7 年間つつがなく過ごしてこれたことへの感謝の気持ちを綴った作品です。3 つ目は、葛飾やすらぎの郷の三上あくりさん『昔懐かしい木目込み人形 つる』です。昔はよく娘さん達に雛人形など木目込みで作ったそうです。約 2 年かけて他の利用者さん、職員と一緒に作成した思いが込められた作品です。

後日、やすらぎの郷にて表彰式も行い、すこやか福祉会を支援する会会長の伊藤さんより賞状が手渡されました。

今回は作品を実際に展示するという初めての試みでしたが、たくさんの方のご来場、そして作品のご応募ありがとうございました。また来年も素敵な作品を、お待ちしております。

「すこやか福祉会を支援する会」にご入会をお願いします

すこやか福祉会を支援する会への入会方法

支援する会に入会ご希望の方は、下記までご連絡願います。
申込書及び郵便振替用紙を送らせていただきます。
また、ご質問などございましたらご連絡ください。
連絡先 TEL 03(5648)8250 やすらぎの郷
TEL 070(5558)8327 町田



三上 あくり様 100歳
葛飾やすらぎの郷



加藤 あき子様 100歳
ファミリーケア柳原



柳下 甚作様 99歳
複合型サービスすこやかの家業平

100歳

もうすぐ
100歳



山本 ヨシ様 101歳
かばらデイサービスセンター



鈴木 直子様 101歳
ファミリーケア訪問入浴



宮本 治様 101歳
かばらデイサービスセンター



岡部 梅子様 101歳
かばらデイサービスセンター



鈴木 セツ様 102歳
ファミリーケア訪問入浴



福屋 正様 102歳
デイサービスよりみち

101歳

102歳

皆さんとても 100 歳とは思えない元気なお姿ですね。いつまでもお元気で過ごして下さい！

※年齢は 2015 年 1 月 1 日現在のものといたします。

つげき☆しपोर्ट

あんな話・こんな話・しごとの話



新年明けましておめでとうございます。今回は、訪問介護事業所ファミリーケア大島の樽見所長にお話を聞きました。2000 年入職以来、柳原事業所に在籍されていましたが、2013 年より大島に移られました。

Q 足立区柳原から江東区大島へ異動されて、地域性の違いは感じますか？

A 柳原は、狭い地域に同じグループ法人の医療機関や福祉用具関連、各施設が密集して、その地域全体が一つのシステムとして機能していました。在宅で生活を継続できる条件が揃っていました。大島にきて感じることは、要介護状態となったとき、施設へ入所する方針の方が多いなと・・・。

Q 今年は介護保険改定が控えています・・・

A 単位数、足りないです！！ご利用者からもっと訪問回数を増やして欲しいという希望があっても、単位数の限度額が優先になることも多々あります。その点も含めて、現状では「在宅介護」はハードルが高くならざるを得ないですね。

ご家族も、点でみるより（居宅系の各サービス）、常時ある安心感（施設入所）を求めているのでは・・・と感じるときもあります。

でも、介護保険法の改定でヘルパーも必要に応じて頻繁にいける巡回型の体制・報酬体系が整えば、在宅を希望する人がもっと増えるのでは。

現状の巡回型は、事業所の経営面で維持していけるような報酬体系になっているか疑問です。巡回訪問に対して、国は、利用者はもちろん、事業所も支えるような体制が必要ですね。

Q 訪問介護を続けて 14 年目。家庭に入っていく職業独自の視点から家族（家庭）のあり方の変遷を感じますか？

A 介護をする側も受ける側も、時代が変わってきたなという実感はあります。ご本人（利用者）も住み慣れた土地に執着しない人が出てきたり、近年では、「娘・息子に迷惑をかけたくない」という意識が根付いたような気がします。

ひと昔前は、子どもが親の老後をみることは当たり前だったけれど。この意識は、すごく複雑な問題ですね。介護の為に、仕事を離れざるを得ない人がいることも現実だし。ありがたい反面、寂しいですね。在宅で介護生活を継続する上では、家族の問題や、家族観の変化は重要な課題ですね。

Q 今までかわってきた中で、ご家族の支援なしに訪問介護を続けたことはありますか？

A 独居で、家族も基本的にはノータッチだったＴさんがいました。

認知症になる前の本人の希望が「施設なんか入りたくない！！」だったので、すみなれた家で生活できるよう、あらゆる制度を駆使して支援しました。それでも、生活環境等を理由に、何度も行政機関から施設入所をすすめられたのですが、ご本人の希望を尊重して戦い（笑）、なんとか支援を継続しました。

最後は認知症だったので、その選択でよかったのかは分からないけれど、死後のエンゼルケアの際、姪御さんが「こんなにたくさんのヘルパーさんが関わっていたんですね。おばさんは寂しくなかった」と言ってくれました。

Q Ｔさんはどんな方だったのですか？

A 訪問スタート時はまだお元気で、猫のミー子に囲まれた生活をしていました。ミー子がいなくなると「ミー子や、ミー子や」と探しに行き、ミー子とともに生きていましたね。ヘルパーがつくったＴさんへのご飯を、すぐにミー子にあげてしまったり（笑）「食事を守る」観点からミー子対策のケア手順を検討したことも（笑）

Ｔさんには、ヘルパー力を磨いてもらいました。ケア技術の他にも、家の中にあまり物がない中で、何を代用して支援するか、試行錯誤の連続でした。きれいごとではなく、現実的に「わたしたち（ヘルパー）がいないとやっていけない」状況だったんです。その分、ヘルパーみんなの思い入れも強かったですね。

Q 休日の息抜きは何ですか？

A 実は・・・サッカー観戦が趣味なんです！！休みの日は好きなチームの試合を見に行きますね

～。サッカー観戦は、普段なかなか出さない感情面の喜び・悲しみがもろに出る。そこがいいんです。ライフワークですね。



ハ潮かえで保育園 「焼き芋大会とリース作り」

今年も去年に引き続き、水元にある畑まで、バスに乗り、芋掘りに行きました。

去年とは人数が違うため 1 グループずつ行きました。いざ、畑につき、大人の靴下を靴の上から履いて、芋掘り開始！

普段から、砂遊びや、泥遊びに慣れている子どもたちは、躊躇なく、素手で芋を掘り始めます。掘ってみたいとわからない芋の大きさ、大きいものや、沢山繋がっているものが掘れた時の嬉しそうな、誇らしげな表情は、なんとも言えません！ダンボール箱にいっぱい芋が掘れたところで好きな芋を 2 つ選び持って帰りました。



芋掘りの次の子どもたちの楽しみは、園庭で行う焼き芋大会です！

掘ってきた芋を見て、「焼き芋大会はいつ？」と楽しみな様子の子供たち、焼き芋大会のために落ち葉、枝を拾いにお散歩に出たりもしました。

沢山の落ち葉、枝を集めて焼き芋大会に臨みました。

当日は朝から焚き火の周りに集まって、率先してお手伝いしてくれる年長さんたち、それを見て手伝いを始める 3, 4 歳の子供たちもいました。

芋を新聞紙、アルミホイルに包むお手伝いも頑張ってくれました！包んだ芋を火の中にいれて、落ち葉をかけて、柔らかく焼きあがるまでワクワクな子供たち、シートの上で焼きたてのホクホクのお芋をみんなで美味しく食べました。

クリスマスリース作り

芋のツルを使って、クリスマス飾りのリースを作りました。ツルをリース状に編んだものに、子どもたちが毛糸や、紙粘土などでキレイに飾り付けました！

世界に 1 つだけの、一人一人違ったリースを完成させました！今後も恒例にして、素敵なリースを作っていこうと思います。

ハ潮かえで保育園 ほしグループ担当 渡辺 雄



ちよつと一枚
グループホーム 青戸・亀さん家
「サツマイモ畑にて」



クイズ

今年の干支は未（ひつじ）年ですね。

未年生まれのスポーツ選手には、偉大な成績を残したり誰しもが記憶に残る名選手がたくさんいます。

例えば、野球界で怪物と呼ばれた江川卓投手や、プロレス界でその全盛期を築いたアントニオ猪木さん、ゴルフ界のプリンス・石川遼さんなど。

さて、相撲界にもその偉業が語り継がれる「未年生まれ」の大横綱がいます。次のうち誰でしょう？

- ① 大鵬 ② 千代の富士 ③ 貴乃花

【クイズ応募のきまり】

◆ ハガキまたは FAX で

《氏名・住所・広報誌の感想を明記》

◆ 商品：抽選でクオ・カードを贈呈

◆ 締切：2015 年 2 月 28 日（必着）

◆ 答え・当選者発表：次号紙面に



〒120-0023 足立区千住曙町 4-16

「すこやか福祉会 事務局 クイズ係り」

FAX：03-5813-9252

【前回の答え】

① かつおぶし 豆腐は植物性たんぱく質ですがかつおぶしは動物性たんぱく質なのでアミノ酸化が上昇します。



本部事務局 〒120-0023 東京都足立区千住曙町 4-16

TEL 03-5813-9251 FAX 03-5813-9252

URL すこやか福祉会 <http://www.sukoyaka-fu.or.jp>

URL ファミリーケア <http://www.family-care.co.jp>